

形態実習Ⅲ（人体のミクロ構造 1）

Laboratory course of Human Morphology Ⅲ: Histology(1)

実習責任者：解剖学（機能組織） 教授 池 森 敦 子

1. 実習概要・学習内容

人体の正常構造の習得を目指す一環として、組織学を講義および実習を通じて学習する。最初に組織標本の作製法、染色法、顕微鏡の使用法を学び、次に生物体の構成単位をなす細胞の形態およびその染色性を学ぶ。その後、細胞が機能的、構造的合目的性をもって集合した組織の構造や機能を学ぶ。本実習では、組織学総論として、大きく4つの項目（上皮組織、結合組織、筋組織、神経組織）を学ぶ。

2. 到達目標

- 1) 細胞および組織の正常構造と機能を、組織学的用語で正確に説明できる。
- 2) 組織標本を用いて、組織を構成する要素を説明できる。

3. 学習上の注意点

事前学習の指示に従って予習を行い、講義・実習に臨む。講義は、講義前に配布される資料をもとに進む。実習では、講義で説明された項目をさらに深く理解するために、組織標本を直接観察する。講義や実習で十分に理解しきれなかった点は、指定した教科書や参考書でしっかり復習すること。

4. 教科書・参考書

教科書：『標準組織学 総論 第5版』（医学書院）

参考書：

（1）入門組織学 改訂第2版（南江堂）

書評：教科書として指定した標準組織学総論より、さらに平易な言葉で、イラストを使用しわかりやすく説明されている組織学の入門書。細かい構造は、あまり触れられていない。

（2）機能を中心とした図説組織学 第5版（医学書院）

書評：組織像の写真、イラスト、表が多く掲載されており、実習の参考書として有用である。項目と関連のある臨床疾患についての説明が、ハイライトの囲みでコンパクトにまとめられており、正常組織像を学ぶ意義を知ることができる。訳本であるため、文章の説明が分かりにくい箇所がある。

(3) カラーアトラス機能組織学 原著第2版 (医歯薬出版株)

書評：組織像の写真、イラスト、表が多く掲載されており、実習の参考書として有用である。項目と関連のある病理学的変化や疾患についての説明が、項目最後にまとめられており、正常組織像を学ぶ意義を知ることができる。

(4) Ross 組織学 原書第5版 (南江堂)

書評：教科書として指定した標準組織学総論より、さらに細かく組織構造が説明されている。組織像の写真、イラスト、表も掲載されている。より深く組織学を極めたい方にお勧め。

5. 成績評価

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	2回	90 (%)	後期中間および期末試験期間中にそれぞれ実施する。
講義・ 実習態度	—	10 (%)	実習態度の評価は、下記の点を毎回評価する。 ・組織標本および顕微鏡の適切な使用 ・服装・実習室への指定時間内の入室の有無。

※本実習では学年末再試験を実施しない。

6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
解剖学 (機能組織)	教授	池森敦子	在室時、12時30分～ 13時 (月曜日除く)	医学部本館6階 解剖学講座	3630(内線) ✉ a2kamijo
解剖学 (機能組織)	准教授	廣井準也	随時 (要メール予約)	医学部本館6階 解剖学講座	j-hiroi
解剖学 (機能組織)	助教	右高潤子	在室している場合、昼休み・ 放課後いつでも。	医学部本館6階 解剖学講座	3628(内線) ✉ igaigaj
解剖学 (機能組織)	助教	井上一歩	在室している場合、 毎日12時30分～13時	医学部本館6階 解剖学講座	4504(内線) ✉ kinoue
解剖学 (生物学)	講師	東郷 建	随時 (要事前連絡)	医学部本館6階 解剖学講座	✉ togot
解剖学 (生物学)	講師	赤染康久	随時 (要事前連絡)	医学部本館6階 解剖学講座	✉ zome

メールアドレスは @marianna-u.ac.jp が省略